

安全に
使うための

かみきひとう 加味帰脾湯の確認票

この漢方薬を服用する人についての質問です。

以前に加味帰脾湯を服用して、気持ちが悪くなったりアレルギー症状（発疹・発赤、かゆみ等）を起こしたりしたことがありますか？

いいえ

はい

服用できません

- 今の症状、またはその他の病気で医師の治療を受けていますか？
- 日常的に服用している薬や健康食品、サプリメントがありますか？
- 妊娠中、または妊娠している可能性がありますか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

薬剤師または登録販売者に相談してください

以前に漢方薬を服用して、むくみを感じたことがありますか？

いいえ

はい

服用はおすすめできません*

次のような症状がありますか？

- 貧血
- 不眠
- 精神不安
- 健忘、動悸、ヒステリー、神経衰弱、神経症

1つ以上「はい」

すべて「いいえ」

平素の体力は充実していますか？

中等度／虚弱

充実

この漢方薬はあなたの体質・症状に合わないかもしれませんが、あなたの意思により服用可能です

- 胃腸が弱いですか？
- 心身ともに疲れていますか？
- 貧血ぎみで、血色が悪いですか？
- なんとなく熱っぽく、熱感がありますか？
- イライラや不安、のぼせ感がありますか？

1つ以上「はい」

すべて「いいえ」



服用できます

* 最終的な判断は、薬剤師または登録販売者に相談して決めてください

効能・効果

体力中等度以下で、心身が疲れ、血色が悪く、ときに熱感を伴うものの次の諸症：貧血、不眠症、精神不安、神経症

日本漢方生薬製剤協会による主な商品例*

	加味帰脾湯 エキス顆粒クラシエ /クラシエ薬品		加味帰脾湯エキス (細粒)9 /松浦薬業	NO IMAGE	JPS加味帰脾湯 エキス錠N /ジェーピーエス製薬	NO IMAGE	ユクリズム /ロート製薬
---	-------------------------------	---	----------------------------	-------------	---------------------------------	-------------	-----------------

*個々の商品については、薬剤師または登録販売者にお尋ねください

使用上の注意

してはいけないこと

次の人は服用しないこと
生後3ヵ月未満の乳児。

相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。 むくみ
 - 次の診断を受けた人。 高血圧、心臓病、腎臓病

- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満感等が繰り返しあらわれる。

- 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

処方構成生薬

人參、白朮または蒼朮、茯苓、酸棗仁、竜眼肉、黄耆、当帰、遠志、柴胡、山梔子、甘草、木香、大棗、生姜、(牡丹皮)

加味帰脾湯の体力分類に対する適応度 (服用される方の普通の体力でお考えください)

I 体力虚弱	II やや虚弱	III 体力中等度	IV 比較的体力がある	V 体力充実
1	2	2	0	0

2：最適、1：適応可能、0：原則としては適さない